

研究課題名 「周術期 k-ICG 値を用いた術後肝不全予測」に関する情報公開

1. 研究の対象

2012 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日までに当院で肝切除術を受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

肝切除後肝不全は致死的な病態である。早期に診断し、治療介入していく必要がある。術前 k-ICG 値は肝予備能評価項目として重要で、肝切除における術前検査として頻用されている。術後の肝予備能を評価する上でも、k-ICG 値を用いた評価方法を検討した。

2012 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日の間、当院にて肝疾患で肝切除術を施行した 200 例について、周術期(術前・術後 1 日目・術後 7 日目)に測定した k-ICG 値を用いて検討する。術後肝不全については、術後 5 日目の血液生化学的データを用いて定義する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

年齢、性別、病歴、肝疾患治療歴、手術日、手術前後の血液検査結果、腹部 CT 画像 等

試料：

なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550

名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科

消化器外科学

TEL： 052-744-2245

FAX： 052-744-2252

研究分担者：

名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・助教・林 真路

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・教授・小寺泰弘